

令和6年度 いわき市立小名浜第三小学校経営・運営ビジョン

＜福島県の教育施策＞

基本理念

「ふくしまの和」で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり

基本目標

- 1 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
- 2 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
- 3 豊かな教育環境の形成

＜いわき市の教育施策＞

基本理念

「地域全体で人を育て、誇れるまち“いわき”をつくる」

＜いわきの学校教育ABCプラン＞

目標「次代のいわきを担う、『生きる力』を身に付けた子どもの育成」

学校経営の基本

- 学校は学ぶところ
- 学校は楽しいところ
- 学校は安全なところ

“笑顔と納得”で登校・下校

【目指す教師像】“教育のプロ”としての質的向上を図ろう

- ① 使命感と自覚を持ち、常に子どもを中心に考え行動する教師
- ② 共に学び合い、常に研修に励むポジティブな教師
- ③ 社会や教育情勢に柔軟に対応できる教師
- ④ 個々の能力を生かし、協力してよりよい学校づくりをめざす教師
- ⑤ 誰に対しても温かく接し、保護者や地域から信頼される教師

あいさついっぱい、笑顔いっぱい、夢いっぱい

～ 心をこめて ～

「挑戦と継続」、「信頼と活力」

せん しん
銃 心

【今年度の重点課題】 ◎4本の矢 「あいさつ」・「体力向上」・「学力向上」・「読書推進」

よく考える子	思いやりのある子	心身共にたくましい子
<p>【めざす子ども像】 よく考え、自ら進んで学習する子ども</p> <p>(1) 読解力、思考力、表現力を向上させます。 ・ 課題設定の工夫、多様な体験の機会や場の積極的・計画的な設定 ・ 各教科等における言語活動の充実（考えや意見を持ち、表現する機会の設定）</p> <p>(2) 基礎的・基本的内容の確実な定着と活用力の育成に努めます。 ・ わかる・できる授業実践 ・ 学び方の習得、ノート指導の充実 ・ 習熟や繰り返し練習する時間の確保</p> <p>(3) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に向け研修の充実を図ります。 ・ 共通課題の解決に向けた現職教育の充実 ・ 弱点を補強し、互いに高め合う自主的授業研究の実施（外部講師の活用 特別非常勤） ・ 学び合いによる児童主体への授業改善</p> <p>(4) 家庭学習と読書の習慣化を図ります。 ・ 家庭学習スタンダードの活用 ・ 学校司書・学校図書館を活用した授業</p> <p>(5) 豊かな体験学習を推進します。 ・ 特別非常勤講師活用、地域素材の学習推進</p> <p>【評価の指標】（5月～12月） □児童の自己評価ポイントUP 「授業が分かりやすい」 「学習したことが身に付いている」 「話をよく聞き、考えるようにしている」 「図書館を学習のために利用している」</p> 	<p>【めざす子ども像】 思いやりをもって人の役に立つ子ども</p> <p>(1) 「親切・思いやりの心」の育成に努めます。 ・ あいさつ、返事、言葉遣い、礼儀の徹底（ソーシャルスキル、コミュニケーションスキルの意図的な育成） ・ 規範意識の向上を意図した継続的な指導 ・ 困りごと調査の実施（年3回以上） ・ 特別な支援を要する子への支援の充実</p> <p>(2) 道徳教育のさらなる充実を図ります。 ・ 道徳的心情・判断力・実践力の育成</p> <p>(3) キャリア教育の推進・充実に努めます。 ・ 学級の当番活動・係活動、児童会活動、学校行事への主体的な参画</p> <p>(4) 生徒指導の機能を生かした教育環境づくりに努めます。 ・ 一人一人が活躍できる場と機会の設定 ・ 善悪のけじめ、安心できる場・雰囲気づくり ・ 自分たちで決める、考える生徒指導の実践</p> <p>(5) 「自分たちの大切な学校をきれいに」という意識を醸成します。 ・ 校舎内外の環境整備・美化活動の推進 ・ 自主的な学校美化活動、清掃活動の充実</p> <p>(6) 情報社会を生きていく上での正しい判断力などを身につけさせます。 ・ ワークショップ等の開催（外部講師活用）</p> <p>【評価の指標】（5月～12月） □児童の自己評価ポイントUP 「思いやりをもち、助け合って行動している」 「進んで挨拶したり言葉遣いに気をつけている」 「学校は楽しい」 □不登校傾向児童の早期発見・早期対応 □いじめ認知の場合 未解決「0」 重大事案「0」</p> 	<p>【めざす子ども像】 健康でたくましく、進んで運動する子ども</p> <p>(1) 一人一人に応じた、規則正しい生活習慣を継続指導します。 ・ 生活リズムの指導と振り返り調査の実施（起床、就寝、食事、歯みがき、入浴、衛生面） ・ 朝食の摂取の習慣化を指導 ・ ノーゲーム・ノーメディアの実践</p> <p>(2) 主体的に運動する子を育成します。 ・ 教科体育（きっかけ）の充実と体育の日常化 ・ 運動身体づくりプログラムの実践 ・ 自分手帳の利用 ・ 陸上（持久走）、水泳、なわとび等、個々の能力に応じた目標の設定、自己記録への挑戦</p> <p>(3) 一人一人に応じた健康教育を推進します。 ・ う歯率、肥満傾向児の減少への指導強化 ・ 性教育、食育、病気の予防の指導の充実</p> <p>(4) 危機回避能力の育成を図ります。 ・ 交通事故ゼロ…歩行と自転車の安全指導 ・ 学校事故ゼロ…校内における安全指導の徹底、潜在危険箇所の発見と除去 ・ 不審者への対応…教員対応訓練 ・ 防災・防犯意識の向上（外部講師の活用） ・ 保護者、見守り隊との連携 ・ 幼小中及び地域との連携</p> <p>【評価の指標】（5月～12月） □児童の自己評価ポイントUP 「心も身体もじょうぶである」 「約束やきまりを守って生活している」 □朝食摂取率 100% □体力テスト目標の達成</p> 

【令和6年度の教育活動の土台】

キャリア教育の視点で、すべての教育活動を点検・見直し・改善・発展

- ◎ 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育
⇒ 今の学びが社会とつながっていくと知ること。それこそが子ども達が学ぶ意欲を高め、自ら生きる力を発見していく道しるべになる。

【キャリア教育で目指す児童像】

夢に向かってチャレンジし続ける子ども ・ 夢や希望をもって努力し、意欲をもって学び続ける子ども

小名浜三小

「キャリア教育全体計画」より

⇒ 基礎的・汎用的能力の育成（*今年度重点） ⇒ 非認知能力の育成

- ①人間関係形成・社会形成能力【コミュニケーション能力】（かかわる力）*
- ②自己理解・自己管理能力（みつめる力）*
- ③課題対応能力（もとめる力）
- ④キャリアプランニング能力（ふみだす力）

- ◎ 積極的な生徒指導の充実 … 「自己決定の機会」を意図的に／自己存在感・自己肯定感を高める／共感的人間関係を「学び合い」から

- ◎ 教職員の働き方改革 … 仕掛け人としての「やりがい」創出／業務の負担感軽減（指導法改善・チーム体制強化）／心身の健康増進